

地域女性活躍推進連携事業【宮城県】

地域の実情と課題

- ①女性の活躍推進に積極的に取り組む企業が県全体に広まっていない。
- ②育児・介護休業制度の理解不足が休業の利用を妨げる一因となっている。
- ③性別による固定的な観念が存在している。(ワーク・ライフ・バランスの推進)

事業の特徴

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業
- 「みやぎの女性活躍促進拠点づくり」モデル事業
- 「女性の活躍促進に向けた取組宣言の実施」
- 「女性人材リスト」の作成

事業の効果

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」において十分な協議及び情報交換ができた。また、主催行事を構成団体と連携して行う事ができた他、後援名義等他団体との連携が広がった。
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業において、年度目標以上の参加を得た。
- 宮城県事業「いきいき男女共同参画推進事業」と連携して開催した、自主事業の講演会により、「仕事と育児の両立」、「男女共同参画」及び「女性活躍」についての気運を醸成することができた。

目的・目標

女性の活躍による地域経済の活性化や多様な地域課題の解決に期待が高まっている中、経済団体や各主団体との連携のもと、県内のあらゆる地域で女性が活躍しやすい環境の整備を推進する。

連携団体

「みやぎの女性活躍促進連携会議」<構成団体(五十音順)>
一般社団法人宮城県経営者協会、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、特定非営利活動法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城県、宮城労働局

今後の課題

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営の他、他団体との連携など会議の活動に広がりを持つことができた。今後も、色々な単体等と連携・協力して女性活躍推進に向け、活動を大きく広げていきたい。
- 都市部以外での女性活躍推進の気運を盛り上げるため、県として都市部以外での事業実施を、更に推進していきたい。

女性活躍促進の普及啓発・意識改革

「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業

宮城県内のあらゆる地域で、女性が活躍しやすい環境の整備を推進することを目的に「女性活躍促進サポーター」養成研修会を各地で開催。

講演会やワークショップを通じ、「女性活躍促進」について正しく理解し、働き方などの意識を変えていただくきっかけづくりを行った。



各地域での女性活躍促進

「みやぎの女性活躍促進拠点づくり」モデル事業

県内6地域で、期間限定の女性活躍促進のための相談窓口開設。(3年間計画)

地域ニーズの掘り起こしや、地域の女性活躍促進関係団体の育成に寄与することができた。



みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業

昨年度開催した「WIT2018宮城」を契機として、更なる女性活躍に向けた機運の醸成に取り組むため、「みやぎの女性活躍促進連携会議」の自主事業として位置付け、宮城県独自の事業「いきいき男女共同参画推進事業」と連携し、講演会を開催したもの。

知事表彰と併せて講演会を開催することで、集客の効果があり、仕事と家庭の両立の観点から、女性活躍の推進や男女共同参画の意識醸成、普及啓発が図られた。



官民連携の推進体制

みやぎの女性活躍促進連携会議